

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年8月29日）

### 1 主な報告等

- (1) 夏休み特別企画「職員の家族及び警察官を希望する子どもを対象とした庁舎見学」の開催結果について

委員から、子ども達にとって良い経験となり、将来、警察官という職業が選択肢の一つになることを期待したい。職員の家族による庁舎見学は、両親の仕事に対する理解を得るという意味でも意義がある。優秀な人材の確保は、長期・短期両スパンで取り組むことが重要であることから、今回の庁舎見学は、警察活動に対する理解を深めてもらう意味でも良い切り口で効果的である。今後も更に内容を充実させて開催していただきたい旨の発言があった。

- (2) 令和6年度防犯ボランティア研修会の実施について

委員から、今回の研修会で発表された課題と、その解決に向けたアイデア等について前向きに検討していただくとともに、防犯ボランティアの活動について広く周知を図っていただきたい。ボランティアの高齢化により各団体の活動維持が困難になってきている。高校・大学等の学生サークルや既存の組織への働きかけ、若者の関心を引き参加したくなるような活動及び防犯ボランティア活動に興味を持たせることを工夫するなど、ボランティア団体の今後の在り方について検討していただきたい旨の発言があった。

- (3) 令和6年優良駐在所職員配偶者表彰の実施について

委員から、駐在所の仕事は、家族のサポートや地域住民との良好な関係構築が重要である。

また、駐在所は県警察の広告塔として、地域のコミュニティに根ざした各種警察活動を行っており、その支えとなっている配偶者を表彰したことは、大変、良い取り組みである。駐在所員は、離島やへき地における一人での勤務が多いため、その家族を含めた様々な支援方策について検討していただきたい旨の発言があった。

- (4) 令和6年上半期（1月～6月）の窃盗犯認知・検挙状況について

委員から、窃盗被害における無施錠率の高さと窃盗被害の多さに驚いた。窃盗被害防止のためには、県民一人一人がきちんと鍵をかけるなどの防犯意識の醸成が肝要である。県民の防犯意識を高めるための広報啓発活動に努めていただきたい旨の発言があった。

- (5) その他

警察本部から、駐在所は、地域の防犯活動や交通安全活動などの各種警察活動を行っているところであるが、その活動は、地域住民等の協力に支えられ、今日に至っている。特に沖縄は島嶼県ということもあり、駐在所員一人で活動している地域も多いが、その地域性を活かし、各種警察活動において、大いに活躍していただい

ているところである。

今後、時代の変化に伴い、駐在所の在り方や駐在所に対する警察本部・警察署の指導・管理の在り方について、様々な視点から検討してまいりたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 警務関係報告について
- ・ 公安委員会あて苦情の調査結果について
- ・ 被害者支援条例に伴う見舞金の支給要綱の進捗について
- ・ 審査請求の裁決について
- ・ 県知事表彰式について
- ・ 監察関係報告について

### (2) 生活安全部

- ・ 弁明書の提出について

### (3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について